



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年10月21日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 井上 武彦

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	47,234	3.7	419	52.9	866	34.9	558	36.6
25年3月期第2四半期	49,058	18.7	891	77.7	1,330	68.7	880	65.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 577百万円 ( 34.6%) 25年3月期第2四半期 883百万円 ( 65.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	25.13	
25年3月期第2四半期	39.62	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	68,028	41,829	61.5	1,883.02
25年3月期	71,128	41,696	58.6	1,877.02

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,829百万円 25年3月期 41,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		20.00		20.00	40.00
26年3月期		20.00			
26年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.5	1,900	12.6	2,600	2.6	1,500	5.2	67.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	22,237,873 株	25年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	26年3月期2Q	23,916 株	25年3月期	23,816 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	22,214,030 株	25年3月期2Q	22,214,186 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスの追い風を受けた製造業を中心に景況感が改善し、徐々に景気回復の兆しが見えてきました。また、欧米の経済も先行きの不透明感を拭えないながらも緩やかに回復しました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、スマートフォンやタブレットの市場が引き続き好調でしたが、薄型テレビ市場については、販売台数が減少しました。また、パソコン市場は、タブレットの需要増により個人向けで低迷したものの、その一方で、Windows XPパソコンの買い替えを背景に法人需要は増加しました。

当社グループはこうした状況下、成長著しいスマートフォン・タブレット関連市場で、アクセサリや無線LAN、ネットワーク対応ハードディスク（以下、NAS）の販売強化に努めました。また、法人向けでは、国内において販売パートナーが安心して当社製品やサービスをエンドユーザーに提案できるよう販売支援・情報提供・技術提供を行うVARパートナープログラムや、米国において法人向けNASの営業提案力・サポート体制の強化を行いました。さらに、構造改革によるムリ・ムダ・ムラの徹底排除を推進し、より筋肉質な経営体質への変革を進めました。

しかし、パソコンや薄型テレビの販売台数減による周辺機器市場の縮小に加え、円安による原価上昇をコストダウンでは補いきれなかった事により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期を下回りました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は472億34百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益4億19百万円（同52.9%減）、経常利益8億66百万円（同34.9%減）、四半期純利益5億58百万円（同36.6%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品は、販売台数が前年同期比で3.7%減少したものの、DRAM価格に連動した販売価格上昇により、売上高は25億28百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

フラッシュメモリ製品は、パソコンから取り外すとUSBコネクタが自動的に収納されるオートリターン機能を採用したUSBメモリなど高付加価値製品の拡販に努めましたが、販売価格上昇の影響により、販売台数は前年同期比で38.0%減少し、売上高は31億70百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

ストレージ製品は、Windows XPパソコンの買い替え需要に合わせ、古いパソコンから新しいパソコンへデータ・設定を移せる引越しソフトウェアを添付したポータブルハードディスクなどの販売に注力しましたが、パソコン市場の低迷に加え、海外市場における低収益製品の販売抑制の影響により、販売台数は前年同期比で20.4%減少し、売上高は157億96百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

NAS製品は、個人向けに録画番組を外先から見られるDLPAリモートアクセス対応NASやオフィスの規模や予算に応じて選べるよう法人向けNASのラインナップ強化、国内外での営業提案力及びサポート体制強化に努めました。米国ではCRN's 2013 Annual Report Card<sup>※1</sup>のSMB Network Storage部門で金賞を受賞するなど計2件の受賞に結びつきました。その結果、販売台数は前年同期比で6.0%増加し、売上高は67億44百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

ネットワーク製品では、高速無線LAN規格11ac（Draft）対応のスマートフォンをはじめとした端末が増える中、それに対応する無線LANの拡販に努めました。また、入居者が入居後すぐに快適にインターネットを利用できるよう、アパートオーナー向けに無線LANレンタルサービスを始めるなど市場拡大に取り組みました。しかし、海外での販売減少の影響が大きく、販売台数は前年同期比で22.2%減少し、売上高は97億91百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

サプライ・アクセサリ製品は、新型iPhone<sup>※2</sup>の対応製品をいち早く市場に投入する取り組みに加え、急速充電に対応するモバイルバッテリーの販売強化を行いました。しかし、パソコン向けの製品が減少したため、販売台数は前年同期比で6.7%減少し、売上高は48億15百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

※1：CRNがソリューション・プロバイダ二千社以上を調査し、各部門において、製品イノベーション、カスタマーサポート、パートナーシップのお客様満足度が総合的に最も高いメーカーを表彰するもので、今年で28回目を迎える権威あるアワードです。

※2：iPhoneはApple Inc.の商標です。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成25年3月期 (第2四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第2四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	2,062	4.2	2,528	5.4	22.6
フラッシュメモリ	3,798	7.8	3,170	6.7	△16.5
ストレージ	17,851	36.4	15,796	33.4	△11.5
NAS	5,953	12.1	6,744	14.3	13.3
ネットワーク	10,506	21.4	9,791	20.7	△6.8
サブライ・アクセサリ	5,199	10.6	4,815	10.2	△7.4
DOS/Vパーツ	1,913	3.9	1,986	4.2	3.8
その他	1,776	3.6	2,404	5.1	35.4
合計	49,058	100.0	47,234	100.0	△3.7

(注) 前連結会計年度まで製品分類として表示のありましたデジタルホーム、サービスは当連結会計年度よりその他に合算いたしました。なお、その他の前連結会計年度の金額、構成比、前年同期比増減はそれに基づいて算出した数値を表示いたしました。

海外事業は、北米・中南米において、法人向けNASの拡販の取り組み等により販売が増加しました。欧州は、前年の債務危機の影響による販売の落ち込みから回復し、増加に転じました。しかし、アジア・オセアニアは、低収益製品の販売抑制及び法人向け製品の販売強化の遅れにより、売上が減少しました。

[海外売上高]

	平成25年3月期 (第2四半期連結累計期間)		平成26年3月期 (第2四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	4,813	50.3	3,303	35.9	△31.4
北米・中南米	2,023	21.1	2,659	28.9	31.4
欧州	2,738	28.6	3,246	35.2	18.6
合計	9,574	100.0	9,208	100.0	△3.8

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は680億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億円減少しました。流動資産は642億52百万円となり7億12百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少64億71百万円、その他流動資産(未収還付法人税等他)の減少18億78百万円、有価証券の増加80億76百万円によるものです。固定資産は37億75百万円となり23億87百万円減少しました。

負債合計は261億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億33百万円減少しました。流動負債は238億7百万円となり、30億62百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少24億68百万円、未払金の減少8億85百万円、電子記録債務の増加10億77百万円によるものです。固定負債は23億90百万円となり、1億70百万円減少しました。

純資産合計は418億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加しました。これは主に、当期純利益5億58百万円の獲得と、配当金の支払4億44百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金)は63億45百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は3億8百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益8億56百万円、仕入債務の減少による資金減少28億72百万円、売上債権の減少による資金増加16億42百万円、たな卸資産の減少による資金増加2億67百万円、減価償却費4億11百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は52億10百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入12億50百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出280億79百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入223億34百万円、有形・無形固定資産の取得による支出7億6百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は4億37百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下期もスマートフォン・タブレット及び法人向けの周辺機器の販売強化、コストダウン、経費削減を進めてまいります。主力であるパソコン及び薄型テレビの周辺機器市場の低迷が続くと予想されます。

こうした状況と当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年5月15日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想を下記の通り修正しました。(本修正内容は、平成25年10月7日に「業績予想の修正に関するお知らせ」として公表済みです。)

[平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表数値(A)	百万円 105,000	百万円 2,700	百万円 3,400	百万円 2,100	円 銭 94.53
今回発表数値(B)	100,000	1,900	2,600	1,500	67.53
増減額(B-A)	△5,000	△800	△800	△600	—
増減率(%)	△4.8	△29.6	△23.5	△28.6	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	102,597	1,688	2,533	1,425	64.17

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などによりこの業績予想と異なる結果になる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,817	6,345
受取手形及び売掛金	17,256	16,894
有価証券	20,000	28,076
商品及び製品	6,029	7,709
原材料及び貯蔵品	5,713	3,891
繰延税金資産	333	398
その他	2,818	940
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	64,964	64,252
固定資産		
有形固定資産	721	760
無形固定資産	1,101	1,379
投資その他の資産		
投資有価証券	3,796	1,077
その他	561	575
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,340	1,636
固定資産合計	6,163	3,775
資産合計	71,128	68,028
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,780	17,312
電子記録債務	—	1,077
短期借入金	—	11
未払法人税等	486	422
未払金	3,024	2,139
役員賞与引当金	9	5
製品保証引当金	137	141
その他	3,432	2,699
流動負債合計	26,870	23,807
固定負債		
繰延税金負債	981	870
退職給付引当金	905	849
役員退職慰労引当金	475	472
リサイクル費用引当金	155	154
その他	43	43
固定負債合計	2,561	2,390
負債合計	29,432	26,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	40,085	40,199
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,799	41,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	142
繰延ヘッジ損益	△0	△56
為替換算調整勘定	△259	△169
その他の包括利益累計額合計	△103	△83
純資産合計	41,696	41,829
負債純資産合計	71,128	68,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	49,058	47,234
売上原価	40,161	39,395
売上総利益	8,896	7,839
販売費及び一般管理費	8,004	7,419
営業利益	891	419
営業外収益		
受取利息	49	38
受取配当金	263	335
有価証券売却益	36	35
為替差益	25	21
投資事業組合運用益	—	3
デリバティブ評価益	—	1
貸倒引当金戻入額	21	—
持分法による投資利益	11	0
その他	59	40
営業外収益合計	468	477
営業外費用		
支払利息	—	0
減価償却費	20	17
デリバティブ評価損	3	—
その他	6	13
営業外費用合計	29	31
経常利益	1,330	866
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	13	10
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	16	10
税金等調整前四半期純利益	1,314	856
法人税、住民税及び事業税	237	438
法人税等調整額	196	△139
法人税等合計	433	298
少数株主損益調整前四半期純利益	880	558
四半期純利益	880	558

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	880	558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△14
繰延ヘッジ損益	△0	△56
為替換算調整勘定	37	90
その他の包括利益合計	3	19
四半期包括利益	883	577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883	577

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,314	856
減価償却費	644	411
受取利息及び受取配当金	△313	△373
支払利息	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	5,734	1,642
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,624	267
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,484	△2,872
未払金の増減額 (△は減少)	△157	△911
その他	△207	1,026
小計	1,906	46
利息及び配当金の受取額	429	532
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△1,755	△1,477
法人税等の還付額	800	1,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,381	308
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	500	1,250
有形固定資産の取得による支出	△315	△206
有形固定資産の売却による収入	—	4
無形固定資産の取得による支出	△171	△499
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△21,787	△28,079
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	21,045	22,334
その他	△12	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741	△5,210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△444	△444
その他	△0	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	56	118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	251	△5,221
現金及び現金同等物の期首残高	8,452	11,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,703	6,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	43,291	1,126	2,738	1,901	49,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,326	2,201	0	71	7,600
計	48,618	3,328	2,738	1,973	56,658
セグメント利益又は損失(△)	916	△12	△153	9	759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	759
セグメント間取引消去	131
四半期連結損益計算書の営業利益	891

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	北米・中南米	
売上高					
外部顧客への売上高	40,174	1,152	3,246	2,661	47,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,999	18,533	38	262	24,833
計	46,174	19,685	3,284	2,923	72,068
セグメント利益又は損失(△)	609	△56	△196	△48	308

(注) 前第3四半期連結累計期間より、従来の「米国」について、「北米・中南米」へ名称を変更いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	308
セグメント間取引消去	111
四半期連結損益計算書の営業利益	419